

7月は河川愛護月間 **～せせらぎに ぼくも魚も すきとおる～** です。



当月間では、自然環境や生活に欠かせない河川への愛護意識が広く地域住民の間で醸成されることを目的に、地域の実情に応じた活動を積極的に推進しています。今回は、地域住民、市民団体と関係行政機関等と協力し、河川環境の保全・再生、河川の美化など河川愛護月間中に取り組んだ活動の一部を紹介します。

<清掃活動>



紀南河川国道事務所 「熊野川・市田川クリーンキャンペーン」

熊野川・市田川では、7月13日(日)に、「河川を美しくする会」、紀宝町、紀南河川国道事務所の主催で河川清掃活動を実施しました。早朝から中学生や親子連れを含め398名に参加していただき、ペットボトル、発泡スチロールのほか、自転車などの大物も含め、約600kgのゴミを回収することで、きれいな水辺がより身近に感じられました。



来年以降も継続して取り組み、熊野川への愛着を深めていただきたいと思います。

琵琶湖河川事務所 「野洲川クリーン作戦」



野洲川では、7月18日(金)に守山市と共同で清掃活動を実施しました。

参加者数は29名で約60kgのゴミを回収できました。実施した区間は堤防兼用道路沿いであったため空き缶やペットボトル、タバコの吸い殻等のゴミが目立ちました。



またタイヤや扇風機といった悪質な不法投棄も見られました。また、のぼり等によるPRも実施しました。

<水生生物調査>



猪名川河川事務所 「猪名川の愛護セミナー（水生生物・水質調査）」

猪名川では、7月27日(日)に小学生・保護者等、251名の参加により、「2014猪名川の愛護セミナー」を開催しました。参加された方々には、河川に親しみ、生物調査・水質パックテストで猪名川を実感し、河川愛護を学んで頂きました。カワゲラ類やトビケラ類、サワガニなど水質階級Ⅰ[きれいな水]にすむ



生物が確認されましたが、水質階級は指標生物が一番多く確認された水質階級Ⅱ[ややきれいな水]となり、良好な河川環境であることを体感していただきました。

福井河川国道事務所 「北川水生生物調査」



北川では、7月23日(水)に小浜市の小中学生や雲浜まちづくり委員会の方など計32名の参加を得て、水生生物調査を実施しました。参加者はサワガニやヘビトンボなどの水生生物を発見することができ、とても楽しそうでした。調査結果はグループ毎でとりまとめ、発表会を行い、北川の水質は「水質階級Ⅰ(きれいな水)」であることが分かりました。これを機会に、水のきれいさや川の環境について考えるよいきっかけになればと考えます。

